

進藤かねひこ 金日子キャッチボール通信

VOL.19 2021.4.1

発行：自由民主党東京都参議院比例区第3B支部

令和3年度予算の政府原案が決定

令和3年度予算が3月26日に成立しました。

農林水産関係予算は、令和3年度に執行可能な予算として令和2年度第3次補正予算(補正)1兆519億円と令和3年度当初予算(当初)2兆3,050億円を合わせ総額3兆3,569億円が確保されました。令和3年度の農林水産予算のサブタイトルは「食料安全保障の確立、国土の保全に向けて」というものです。農林水産業と農山漁村を取り巻く状況は、厳しさを増していますが、ポストコロナの我が国の再生を目指して、貴重な予算を効果的、効率的に執行していく必要があります。農業農村整備事業関係予算は、補正と当初を合わせて6,300億円、林野庁関係予算も同様に4,588億円のうち林野公共は2,889億円、水産庁関係予算も同様に3,065億円のうち水産公共は1,006億円が措置されております。「総合的なTPP等関連政策大綱」や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく諸施策の着実な実施とともに、諸課題に取り組んでいく必要があります。

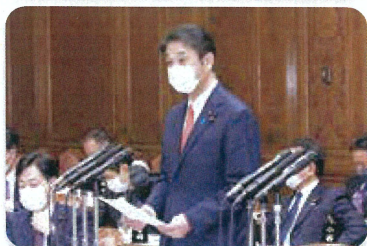
予算関係の資料は、以下のアドレスをご覧ください。 <https://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

新たな土地改良長期計画が閣議決定

- ・「新たな土地改良長期計画」が、3月23日に閣議決定されました。
- ・今後、5年間の土地改良事業の指針となる「新たな土地改良長期計画」において、農水省は、「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」及び「農業・農村の強靱化」の3つの政策課題を設定、スマート農業実装の加速化、防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進などで、新たなKPI(重要業績評価指標)を盛り込んでいます。

以下のアドレスをご覧ください。(農水省ホームページ) <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/keityo/210323.html>

参議院議員進藤金日子、参議院予算委員会で質問



3月15日、参議院予算委員会において、食料安全保障確立などについて質問を行いました。具体的には、①食料自給率目標の達成に向けて食料自給率を引き上げていく具体的な方策(野上農林水産大臣)、②食料安全保障の観点からの農政の推進(野上農林水産大臣)、③食料安全保障と地球環境問題との関連(小泉環境大臣)、④食料安全保障確立に向けた政策推進と併せて、森林・林業政策並びに水産政策に懸ける意気込み(菅内閣総理大臣)、⑤地方への人材供給政策の現状と今後の見通し(坂本地方創生担当大臣)について、政府の見解を求めました。併せて、放送法の外資規制違反問題について、武田良太総務大臣等に質問しています。是非とも下記のインターネット中継をご覧ください。

また、食料安全保障に関わる質疑については、別途資料を整理してほしいとの多くの声があり、冊子にいたしました。私のHPに動画とともに掲載していますので、是非ともご覧ください。写真:参議院予算委員会で菅義偉内閣総理大臣に質問する進藤議員

質疑の詳細は、「参議院インターネット審議中継」をご覧ください。 <https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>
参議院議員進藤金日子ホームページをご覧ください。 <https://www.shindo-kanehiko.com/>

現場の実態を視て、声を聴いて、声を実現に取り組んで参ります。

今後もあらゆる機会をとらえ、全国津々浦々の現場を訪問、現場の声を背景に、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、あくまでも現場主義、地域主義を基本として、国政の中で積極的に活動して参ります。

参議院議員 **進藤金日子**



毎日元気に活動しています。

討議資料

各種会議・集会等に参加し、積極的に活動を実施しています。

皆様からたくさんの質問や激励をいただいています。



土地改良関係者よりリモート会議



自民党棚田PTで司会進行



自民党農村基盤整備議員連盟総会で司会進行



防災担当大臣へ豪雪被害対策を要請



参議院地方創生及び消費者問題に関する特別委員会で坂本地方創生大臣に質疑

各地で皆さんと意見交換

国政報告会の開催、各地での各種総会等を通じて、多くの皆さんの声や現場の状況を聴かせていただいております。



秋田県下の豪雪被害現場を調査



滋賀県下の土地改良関係者と意見交換



高知県下の農業関係者と意見交換



岩手県下の積雪による農業用ハウス被害を調査



新たな土地改良長期計画のポイントを教えてください。



新たな土地改良長期計画のポイントについて、私なりに5つ挙げたいと思います。①土地改良事業の方向性を大項目として項目立てして明確化したこと、②スマート農業の実装と防災、減災・国土強靱化に果たす土地改良事業の方向性を明確化したこと、③水田農業における高収益作物への転換、産地形成を通じた産地収益力の強化を打ち出したこと、④ICTなどの情報通信技術を活用した農業水利施設の戦略的保管理の方向性を明確化したこと、⑤土地改良区の運営体制の強化を明確化したこと(現行計画は土地改良制度の検証・検討)です。



東日本大震災から10年たちましたが、津波被害や放射能汚染に対する森林・林業再生の今後の取組に期待します。(福島)



政府は、令和3年3月「[復興・創生期間]後における東日本大震災からの復興の基本方針」を閣議決定し、令和3年度以降の森林・林業の再生に向けた取組を進めることとしています。海岸防災林の復旧は、原子力災害被災地域の一部等を除いた箇所での工事が完了しました。また、森林内の放射性物質への対策については、放射性物質のモニタリングや森林整備、しいたけ原木生産のための広葉樹林の再生の取組、木材製品やきのこ等が安全に供給できる対策や林内作業者の安全・安心対策が引き続き講じられます。



漁業者が活用できるコロナ対策予算はありますか？



緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金(売上が50%減少した個人事業者へ30万円以内、法人へ60万円以内の一時金を支援する予算が措置されております(申込期限:令和3年5月31日)。また、漁業者の資金繰りの支援として、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた漁業者に対し、運転資金等の実質無利子化、実質無担保化及び保証料助成措置の金融支援を集中的に実施する「水産金融総合対策事業」が措置されています。*詳細は、以下のアドレスから参照願います(農水省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/support_gyogyou.pdf

皆様のご意見や感想をお聞かせください。お待ちしております。



ホームページ



Facebook



LINE

参議院議員 進藤金日子事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室
電話: 03-6550-0719 FAX: 03-6551-0719

毎日の活動については、進藤金日子オフィシャルサイトをご覧ください。
<https://www.shindo-kanehiko.com>